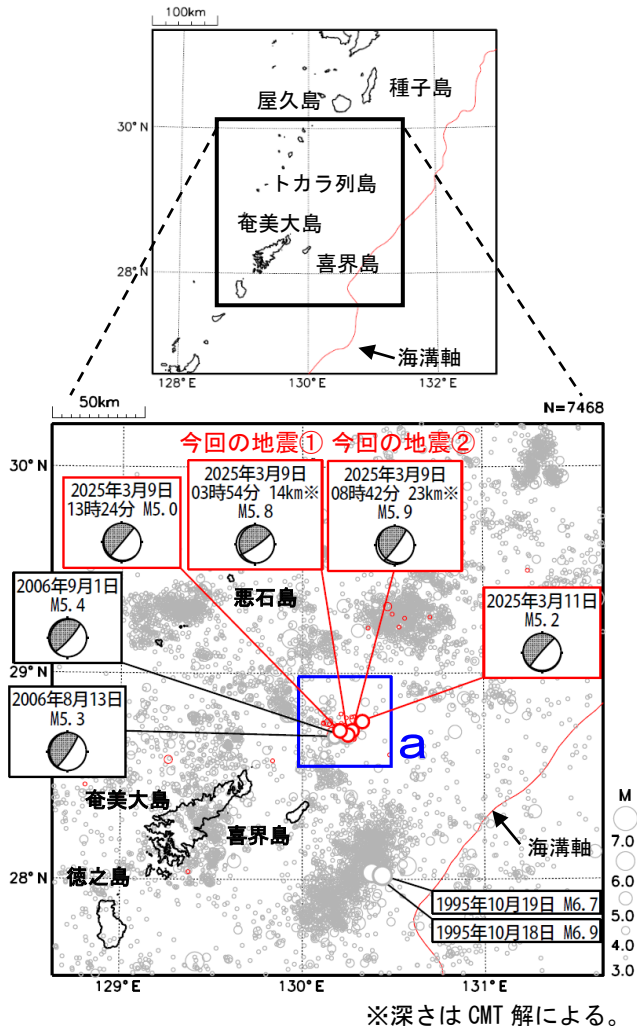


3月9日 奄美大島北東沖の地震

3月9日03時54分のM5.8の地震の情報発表に用いた震央地名は「奄美大島近海」である。

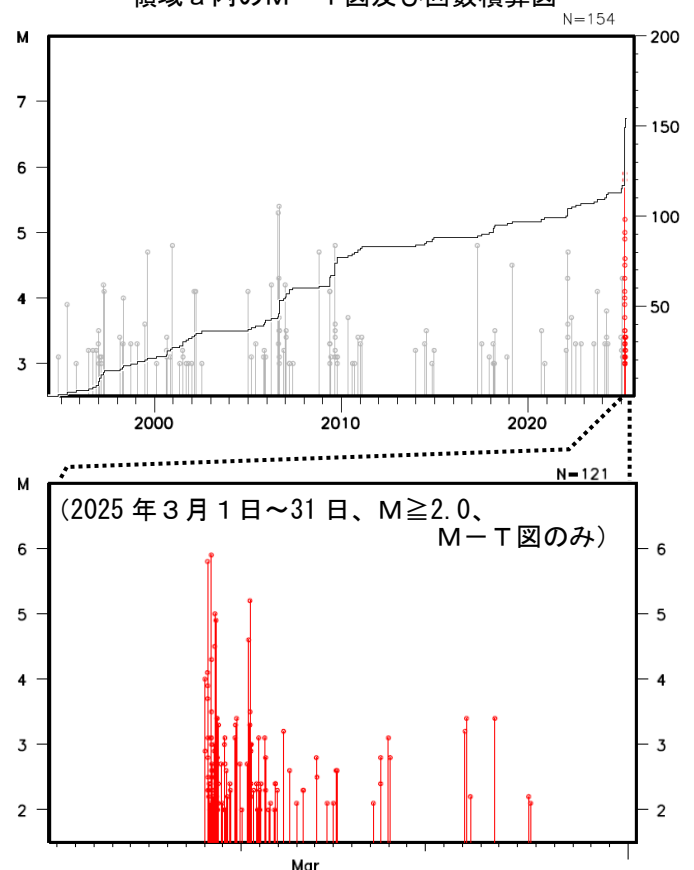
震央分布図
(1994年10月1日～2025年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2025年3月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

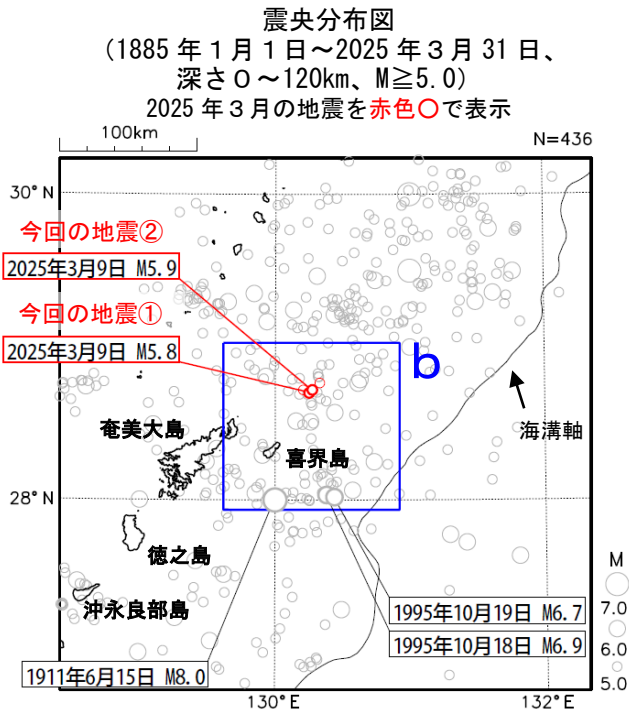


2025年3月9日03時54分に奄美大島北東沖の深さ14km (CMT解による) でM5.8の地震 (最大震度4、今回の地震①) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。また、今回の地震①の発生から約5時間後の同日08時42分に深さ23km (CMT解による) でM5.9の地震 (最大震度3、今回の地震②) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震の震央付近 (領域a) では9日から11日にかけて地震活動がやや活発になり、31日までに震度1以上を観測した地震が12回 (震度4：1回、震度3：1回、震度2：4回、震度1：6回) 発生した。時間の経過とともに地震回数は減少している。

1994年10月以降の活動をみると、領域aでは2006年8月13日にM5.3の地震が、2006年9月1日にM5.4の地震が発生している。また、今回の地震の南南東約80kmでは、1995年10月18日にM6.9の地震 (最大震度5)、翌19日にM6.7の地震 (最大震度5) が発生し、喜界島で負傷者1人、住家一部破損4棟などの被害が生じた。これらの地震により、鹿児島県の中之島で43cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測するなど、関東地方から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図





(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津 (2001)、
宇津 (1982, 1985) による※)

※宇津徳治 (1982): 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表: 1885年～1980年, 震研彙報, 56, 401-463.

宇津徳治 (1985): 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表: 1885年～1980年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.

茅野一郎・宇津徳治 (2001): 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 657pp.

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1911年6月15日には $M8.0$ の地震が発生し、死者7人、負傷者26人、住家全壊418棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

